

問 本町は急速な都市化で、車の往来も激しさを増している。照屋給油所付近も横断歩道は設置されているが、信号機がない。信号機設置は差し迫って重要な課題である。信号機設置を検討している場所はあるか。

副町長 照屋給油所付近の交差点を含め、町内18カ所の信号機設置を与那原警察署に要請している。

問 地域のボランテアやPTAが通学時に交通安全指導をしている。町は交通安全行政をどう考えるか。

副町長 県交通安全推進協議会から平成26年度に交通死亡事故抑止功労のあった自治体として表彰を受けた。今後も交通安全の普及活動を推進する。

問 交通安全指導のボランテアに対し感謝の気持ちを育む教育が学校現場ではなされているか。

教育長 子どもたちはボランテアへお礼の感想文や感謝状、花のプレゼントなどを送っている。



大城 勝 議員

信号機の設置は きっ きん 喫緊の課題

答 町内18カ所の設置を要請している。

職員のメンタルヘルスへの対応は

問 町民への質の高い行政サービスを考えるとき、町職員が健康であることは大切である。健康管理体制はどうか。

副町長 町保健師職員を衛生管理者として置いている。人間ドック受診も義務付けている。心身面では人事担当と連携したサポート体制がある。

問 町職員の笑顔対応は、住民へのより良いサービスの一歩だと考える。笑顔づくりを接客教育に取り入れられないか。

副町長 日頃から笑顔での住民対応を心掛けるよう指導している。

健康推進を図る施策を

問 町民の健康推進を図る施策が大切である。役場町民ロビー内に血圧計や体重計、身長計などを設置し、町民への健康発信コーナーを作れないか。

副町長 健康づくり事業の一環として予算計上し、設置を予定している。

いる。
民生部長 健康増進に努めていることを発信していきたい。

問 町民の野菜摂取への関心度を上げるため、食堂経営者に健康野菜メニューを提示できないか。町が認証する健康食の認証店制度が作れないか。

副町長 食堂経営者から相談があれば、町も対応することは可能だと考える。



健康づくりを呼びかけるポスター